

# だい ぶ か だい 第 6 部 課題

この用紙は、ようし大会当日使用しますので、かなら必ずご  
じさん持参ください。

## だい かい 第 15 回 まいにち にゅうりょく 毎日パソコン入力コンクール がつ たい かい 6 月大会 か だい 【課 題】 だい ぶ わ ぶん 第 6 部 和文 B とうひょうりつ てい か こくみんてき か だい 投票率の低下 もはや国民的な課題に せいげんじかん ふん 制限時間 5 分

### とうじつ ちゅういじこう 【コンクール当日の注意事項】

- この用紙を拡大・修飾などして、当日使用しても問題ありません。
- 団体責任者の指示にしたがい、18桁の参加番号を半角数字で入力してください。
- 課題の入力はすべて全角文字でおこなってください。スペースと改行も字数に数えます。ただし最終行はのぞきます。

※この課題は、平成26年12月19日付、平成27年3月3日付 毎日新聞社説・余録より引用しました。（文字数1,700字程度）

### か だい ぶん しょう きんそくもじ 〈課題文章の禁則文字について〉

毎日パソコン入力コンクールでは、引用した文章を原文のままソフトに取り込んでい  
るため、行頭、行末に禁則文字が来る場合があります。課題文章のPDFファイルど  
おりに入力すると正解になります。

しゅざい  
主催

まいにちしんぶんしゃ  
毎日新聞社

いっぽんしゃだんほうじん  
一般社団法人

にほん のうりょくけんていはいいんかい  
日本パソコン能力検定委員会

こうえん  
後援

そうむしょう  
総務省

もんぶかがくしょう  
文部科学省

こうせいろうどうしょう  
厚生労働省

けいざいさんぎょうしょう  
経済産業省ほか

ぎょう じづめ ぶんしょう にゆうりょく  
1行35字詰で、つぎの文章を入力してください。

※  の箇所かしよ かいぎょうで改行 (Enter) してください。

社説：投票率の低下 もはや国民的な課題に   
民主主義の基盤を揺るがしかねない。衆院選の投票率は小選挙区で52.6  
6%に落ち込み、戦後最低だった2012年を6.66ポイントも更新した。   
有権者の関心が盛り上がり、急な選挙だった事情もあるが、低投票率傾  
向は国政、地方選挙全般を通じて進行しているだけに深刻だ。国や自治体も真  
剣に手立てを講じなければならない。   
政権を選ぶ選挙にもかかわらず、有権者の半分近くが今回、投票所に足を運  
ばなかった。投票率が60%に達した都道府県はなく、青森、宮城、富山、石  
川、愛媛、徳島、福岡、宮崎の8県は5割に届かなかった。「大都市圏よりも  
地方は投票率が高い」という従来の常識はすでに揺らいでいる。   
国政選挙は12年衆院選を境に低投票率が目立ち、昨年の参院選も過去3番  
目の低さだった。特定の支持政党を持たない無党派層の票が行き場を失ってい  
ることなどが影響しているとみられる。   
加えて、今年の東京都知事選にみられるように、自治体の選挙でも投票率は  
伸び悩んでいる。投票動向の分析に詳しい松本正生埼玉大学社会調査研究セン  
ター長は埼玉県内で昨年投票が実施された18市町長選挙のうち14で投票率  
が前回投票を下回ったことなどを指摘し「選挙離れの進行速度は深刻だ」と警  
告する。構造的な問題だと捉えねばなるまい。   
「選挙離れ」が進めば政治や行政と有権者の距離を広げ、民主主義の土台を  
おしばむ。政党や候補が魅力ある論戦を繰り広げ、有権者は選挙権の重みを認  
識することが大前提であることは言うまでもない。   
とりわけ、若い世代の低投票率対策は急を要する。選挙権年齢の18歳への  
引き下げは主権者意識を養い、早い段階で投票習慣を定着させる観点からも急  
がねばならない。教育現場での模擬投票や討論の学習など、これまで以上に選  
挙に親しむ場面を増やすべきだ。   
投票しやすい環境の整備も大切だ。期日前投票をより活用するために現在は  
午後8時までとしている投票時間の延長を認めたり、投票所を増設したりして  
はどうか。   
超高齢化が進み、投票所に足を運べない有権者の増加も指摘されている。市  
町村合併などの影響で減少した投票所の再配置など、目配りが欠かせない。選  
挙区が同じであれば、どの投票所でも投票できるようなシステムも検討対象と  
なる。 

こべつほうもん かいきん など いぜん として きせい の 多い こうせんほう の み なお いそ 見直しも急ぐべきだが、  
じちたい くふう と 組み ぶぶん おお 部分も多いはずだ。まずは らいしゅん と ういつちほうせん 来春の統一地方選を、危  
ういふうしやう はど 歯止めをかける場として 位置づけたい。☞

まいにちしんぶん 毎日新聞 2014年12月19日 ☞



よろく 余録：バリアフリー映画をご存じだろうか… ☞

バリアフリー映画をご存じだろうか。目の見えない人のために 場面を説明する  
ナレーション（副音声）、耳の不自由な人のために 字幕を付けた映画である  
。活動弁士がスクリーンの横で副音声を語る上映会もあり、ライブ感覚を楽しむ

むファンがいる▲かつては点字図書館の一部で鑑賞されていたが、企業や民間  
財団の後押しもあり、各地の図書館やホールで上映されるようになった。映画  
制作会社も協力し、最新作のバリアフリー化も珍しくなくなった▲毎年2月、

おおつし やく 1500人の参加者が集まるアメニティーフォーラムという障害者  
福祉の集いがある。そこでバリアフリー映画祭が行われている。今年は周防正  
行（すおまさゆき）監督が訪れ、「舞妓（まいこ）はレディ」などが上映され

た。周防監督は自分の作品の副音声をすべて自分で書いている▲「まさか目の  
見えない人も劇場で映画を楽しみたいと思っっているとは知りませんでした」。  
副音声を付けた自身の作品を劇場で目をつぶって鑑賞したことがある。言葉に

よる説明がどう伝わるかを確認するつもりが、「やっぱり映像が目には浮かんで  
しまった」と苦笑する▲シルバーシートはお年寄りだけでなく、障害者や妊娠  
中の女性にも対象が広がった。車いす用トイレは多目的トイレへ進化し、知的

障害者へのわかりやすい案内表示は外国人観光客にも便利だ。暮らしにくい人  
への配慮は、多くの人にも恩恵となり、社会は変わっていく▲どんな人にも楽  
しんでもらえる映画を作ってきたと周防監督は言う。「これからは目の見えな

い人のことも意識して作るようになるでしょうね。変わっていくと思います」☞

まいにちしんぶん 毎日新聞 2015年3月3日